Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北

旅東北ＮＥＷＳ

VOL.020
2020年5月25日発行
（一社）東北観光推進機構

観光需要の回復に向けた東北観光推進機構の取組みについて

　新型コロナウィルス感染症の拡大により移動の自粛を余儀なくされ、国内外の観光需要は大きく落ち込んでおります。やがて、新型コロナウイルスが収束に向かう際には、各県内、東北域内、日本国内、海外の順に需要の回復が進むと考えております。新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、「自粛期」「国内復興期」「国際復興期」のそれぞれの時期において、「オール東北」で取り組むことが重要です。

　2020年度は、第４期中期計画の基本計画を軸として広域連携の重点課題を具現化し、その成果を来年度からスタートする第５期中期計画につなげていく重要な年です。
　事業計画においては、「デジタルファースト」を戦略の柱に据え、観光庁やＪＮＴＯ（日本政府観光局）をはじめ地域関係者との連携を強化し、動画やＳＮＳ・ホームページの活用強化のほか、航空券・ホテル等の予約データに基づくプロモーションや、デジタル統計データを活用した域内動態に関するデータ収集・分析など、広域連携ＤＭＯとしての東北観光推進機構の役割をふまえ新しい時代に対応した持続可能な広域連携の姿をさらに定着させ、東京オリパラの延期により同時期開催となる東北ＤＣへの海外からの誘客も視野に入れて、「オール東北」体制で各種取組みを推進します。
　コロナウイルス感染症の影響による国内外の観光需要の大きな落ち込みを受けて事業計画の見直しを行い、インバウンドに重点を置いた事業だけではなく、地域の観光復興に向けてまずは東北域内や国内流動の活性化に寄与する事業について関係各所と連携し、しっかりと取組みを進めてまいります。

　なお2020年度事業計画は、6月8日の東北観光推進機構第4回通常総会ののち、ホームページ「旅東北」に掲載いたします。（https://www.tohokukanko.jp/business/index.html）

一般社団法人東北観光推進機構 2020年度 事業計画 要約版

オール東北推進役としての東北観光推進機構

第4期中期計画 「広域連携による『新しい東北観光の創造』」

■基本方針　【中期計画基本方針と2020年度における取組みの方向性】上段太字：中期計画の基本方針、下段：2020年度の方向性

- **幅広い連携によるオール東北の実現**
  コロナウィルス収束後の早期回復
  トップセールス等をはじめとする連携強化、情報発信強化等
- **戦略的なプロモーションと情報発信の拡充**
  市場ニーズを踏まえたターゲットを明確にした誘客促進等
- **受入環境の整備促進**
  受入環境のボトルネック解消に向けた二次交通、多言語対応等に関する取組み
- **域内観光コンテンツの磨き上げ**
  市場のニーズに即した観光コンテンツの磨き上げと確立
- **人材の育成とネットワーク化**
  持続的な東北観光の発展に資する観光人材の育成・ネットワーク化
- **マーケティング・広域観光戦略の強化**
  東北広域マーケティングの強化とDMO等関係機関との事業連携の深度化

広域連携の重点課題：東北ブランドの確立／デジタル戦略の構築／二次交通の利便性向上／東北太平洋沿岸の観光復興

phase1　phase2　phase3　2021年4月　phase3 ？

1. 自粛期
◆将来の観光需要回復に向け、感染拡大防止期間に受入環境整備と推進体制の強化を推進
◆一部プロモーションに係る事業の事業内容見直し
◆定率の補助金事業は一部縮小を検討

2. 国内復興期＝自粛ムード打開と国内誘客促進（東北域内市場喚起→大規模市場喚起）
◆国内の旅行需要を喚起するキャンペーンを新たに実施
◆地域の収束状況に即応できるよう、東北域内と大規模市場の二段階で実施
◆国の補正予算や一部事業の見直しにより事業費を捻出

各フェーズのスタートダッシュに向けた、積極的な「助走期間」

3. 国際復興期＝訪日誘客促進
◆各市場の収束状況に応じた情報発信の強化（安全・安心の情報発信）
◆東北への国際定期便の運行再開・継続及び新規就航に向けた取組みの強化
◆各市場の感染拡大状況に応じた事業内容の見直し

◆DC開催に向けた確実な準備、プロモーションの展開

東北デスティネーションキャンペーン

国の Go to Travel キャンペーン

東京オリパラ

「デジタルファースト」の取組みを推進します

東北の観光・旅行情報サイト「旅東北」ホームページは、東北域内のゲートウェイ機能をもつ多言語ホームページであり、これまでSNSの活用と合わせ、東北の観光情報を強力に発信してきました。

本年度は、外部専門人材による、観光関連の様々なデジタルデータおよびアナログデータを組み合わせたマーケティング調査・分析を行い、その結果を踏まえたデジタル戦略を立案し、最大効果を生み出すホームページ・SNSを活用したデジタルプロモーションを展開してまいります。

東観推では、引き続き「デジタルファースト」の観光施策を実施し、国内外に向けたデジタルプロモーションを展開してまいります。

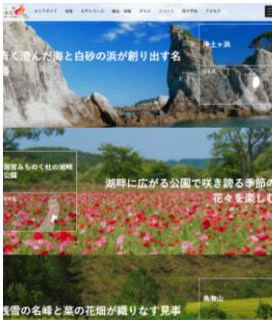
デジタルプロモーション

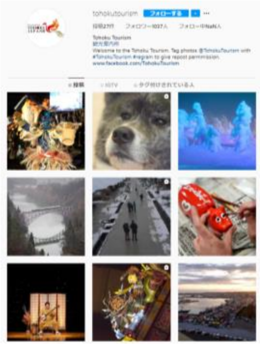
多言語ホームページ「旅東北」

東北の総合的な観光情報を提供する多言語HP「旅東北」の運営を通して、東北の観光情報を広く発信。
＜言語＞日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語
＜構成＞動画、特集、観光・スポット情報、イベント情報、交通アクセス等

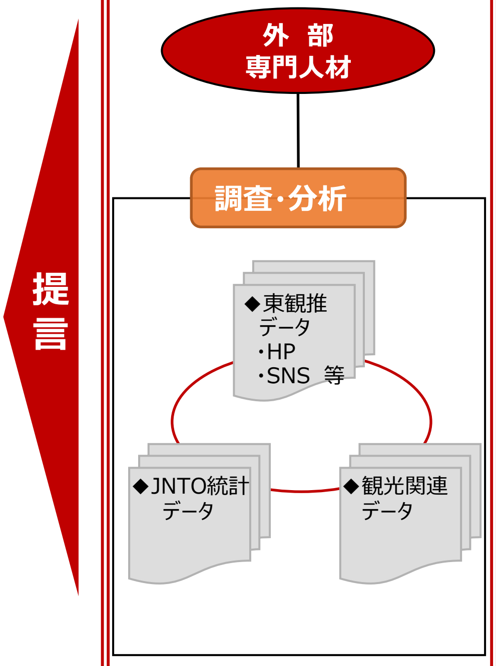
SNS

東観推公式フェイスブック（日本語、英語圏向け、ムスリム圏向け）及びインスタグラムを運営し、HPと連携し、様々な層に対して適時・適切に東北の魅力を訴求。





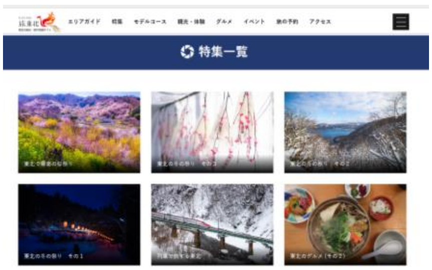
デジタルマーケティング



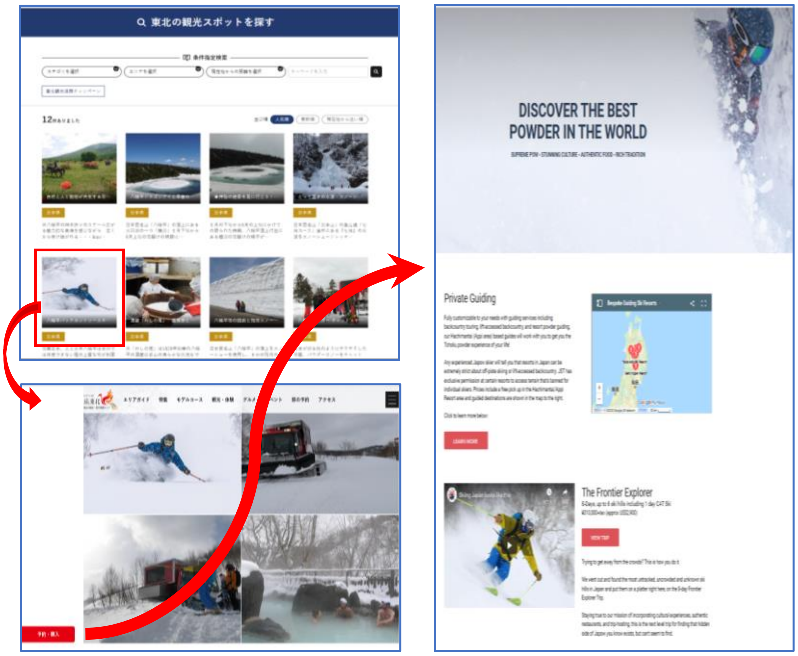
「旅東北」ホームページのコンテンツが充実しました

「紅葉」「冬のまつり」や「酒」「侍」「精神文化」などの興味関心の高いテーマ別の特集記事を追加掲載したほか、東北域内のDMOや観光・交通事業者の皆様と連携し、着地型商品や二次交通のコンテンツを集約してWEB上で一括発信し、予約・購入までできるプラットフォームの構築を行いました。

ホームページにより東北への興味関心を喚起しつつ具体的な予約・購入というアクションへとつなげ、国内外からの具体的な誘客を図る仕組みを今後もさらに強化してまいります。



【特集記事追加（日・英・繁・簡）】



【観光スポット（体験）　予約・購入までワンストップ】

「Tohoku Highway Bus Ticket」の専用ページを開設しました

訪日外国人観光客を対象に高速バス・一般路線バスを乗り放題とするフリー乗車券「Tohoku Highway Bus Ticket」について、「旅東北」ホームページ内に新たに専用のページを開設し、購入方法・路線図・引換場所などの情報を提供できるようになりました。ぜひご覧ください！

●旅東北「Tohoku Highway Bus Ticket」 専用ページ
https://www.tohokukanko.jp/bus/

2019年の口コミ増加率で、全国TOP３を東北が独占しました

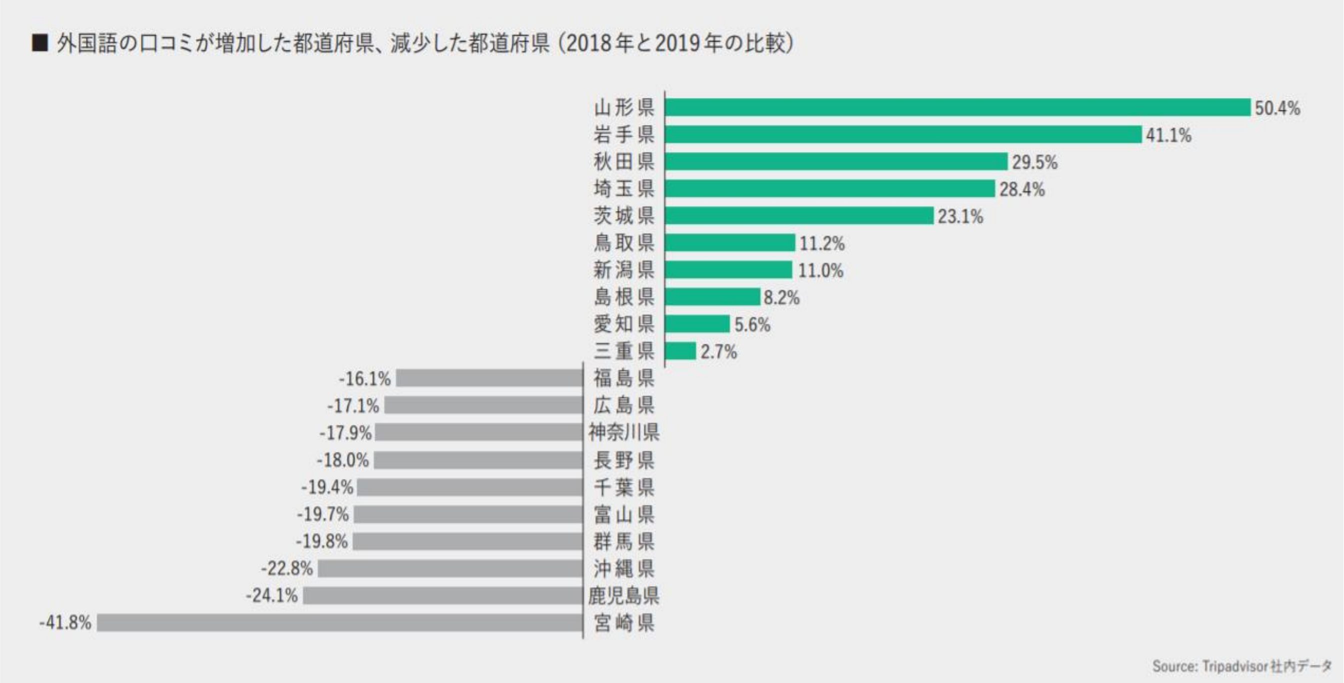
トリップアドバイザー「インバウンドレポート2020」が発表され、2019年の口コミ増加率は都道府県別で、１位山形県（対前年50%増）、2位岩手県（41%増）、3位秋田県（30%増）の順で、全国のTOP３を東北が独占する結果となりました。

昨年度の東北各地でのセミナー開催など、域内の皆様と一体となって口コミ投稿を促進する事業に取り組んできた成果がでてきていると思います。

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるという外国人旅行者が増加しています。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。再び東北への誘客を図るため、ご協力をお願いします。

●トリップアドバイザー「インバウンドレポート2020」
https://tg.tripadvisor.jp/news/blog/inboundreport2020/



●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアル
オーナー登録の方法、困ったときどうすればいいか、どうやって口コミに返信すればよいかがわかります。ぜひご活用ください。
https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf

「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」について

観光地域づくり法人全般の底上げを図るため、4月から登録制度が見直され、観光庁から観光地域づくり法人の役割や取組内容を具体的に解説するガイドラインが公表されました。東北観光推進機構は広域連携DMOとして、ガイドラインに示された役割である広域的な連結性を有するコンテンツ開発等の着地整備の各地域への働きかけのほか、広範囲にわたる戦略策定やマーケティング等を引き続き実施していきます。

またこの度、新型コロナウイルス感染症拡大による影響とあわせ、域内のDMOから意見集約を実施し、各DMOの現状や課題などを集約させていただきました。財源や人材の確保、地域関係者との更なる連携の強化への取組み等、様々な課題を確認しました。今後東北運輸局や観光庁と共有し、今後の広域連携強化に繋げてまいります。

●観光庁HP「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の公表について
https://www.mlit.go.jp/kankocho/news04_000169.html

2020年度第１回行政観光戦略会議を開催しました（2020年4月17日）

東北6県・新潟県・仙台市の観光担当課長クラスの方々と、Web会議を開催しました。新型コロナウイルスへの対応として、事業者支援や感染防止対策など現在の取組みについて各県市との情報共有を行うとともに、コロナウイルス収束後の取組みの方向性について、意見交換を行いました。

東観推では、コロナウイルス収束のタイミングをふまえながら、各県市をはじめ東北域内のオール東北での取組みを進めてまいります。

「インバウンド対応ことはじめ（指さしツール）」ご活用ください！

外国人旅行者が旅ナカで抱えている問題等への理解を深めるとともに、実際に外国人旅行者をおもてなしする際に役立つ指差しツールを備えた冊子「インバウンド対応ことはじめ」を作成しました。

コロナウイルスで自粛が続くいま、今後に向けた受入体制強化の一環として、ぜひご活用ください。
https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0144/144_101_file.pdf

多言語電話通訳サービス　外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外
【対応言語】日本語⇔英語・中国語・韓国語
【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料　※ただし、通話料金は利用者負担
【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア
【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。
申込書をお送りします。

「旅東北NEWS」VOL.020　2020年5月25日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル８階
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook
東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！
https://www.facebook.com/tohokukanko/
「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！